

千西一遇

第81号
発行
2021年
7月8日(木)
上田西高校
新聞編集
編集局長:堀内日菜子
新聞委員長:橋爪ここ菜
藤田 珠寿
小澤紗也華

上田西高校の主権者教育

模擬投票や生徒会役員選挙で実際の選挙を体感

2021年10月21日(木)に任期が満了し、第49回衆議院議員選挙が実施される。若者の選挙離れが話題となる中で西高生はどういった投票行動をとるべきか。4月末に行われた模擬投票や10月に行われる生徒会役員選挙の実施方法などについて取材を行いまとめた。



模擬投票を行う様子。投票は上田市の選挙管理委員会から実際の投票箱を借りて行われた

参院選模擬投票を実施

4月末に行われた参議院議員長野選挙区補欠選挙模擬投票を主催した地歴公民科の森下暁教諭は模擬投票を実施した理由について、「政治が高齢者向けのシルバークロニクル選挙に陥っていくことに問題意識を持っているから。本来政治は主権者全世代に向けて行われるべきだ

選挙管理委員長に吉池光美さん 実際の選挙を意識できるような生徒会役員選挙を目指す



今年度の選挙管理委員会の役員。委員長の吉池光美さん(中央)、左から副委員長の鈴木琴巴さん、橋詰未来さん、池田菜緒さん、鎌田千鶴さん

選挙管理委員会が7月7日(水)に開催され、吉池光美さんが今年度の委員長に選出された。吉池委員長は、生徒会役員選挙を通して「参加した生徒が実際の選挙を意識することができるよう選挙にしたい」と話す。それは、少しでも若者の投票率が上がるよう、投票会場の雰囲気慣れ、自分の一票の大切さを感じてほしいからだと言ふ。そして、「生徒の意思が正確に反映されるに選挙自体が公正

に行われなければならない」と続けた。昨年度の役員選挙では電子投票と通常の投票を同時に行うため混乱が起きた。吉池委員長は昨年度の反省を活かし、「委員会内での情報共有のミスが無いよう、委員への指示を明確にして運営していく」と話している。現在の所、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行いながらも実際の選挙の方式と同様に投票箱や記載台等を用いて生徒会の役員選挙を実施する予定であるという。

また、今秋に実施される生徒会役員選挙と日本全国で行われる衆議院選挙では、規模の差はあるにせよ、一票の重さは変わらない。自分の未来の生活のためにも、しっかりと考えて投票に臨むための土壌を作ることが大切である。(藤田 珠寿)

シルバー民主主義：
少子高齢化が進む先進国などで、高齢者が有権者の多数派となり、政治への影響力が増すとされる現象のこと。



参議院選挙の模擬投票を主導した地歴公民科の森下暁教諭

「シルバー民主主義」という現象が起こっている。そんな社会の中で若者はしっかりと政治と向き合い、政治に参加することがシルバークロニクル民主主義解決に繋がる1つの行動であることがわかった。(小澤紗也華)

が、実際には投票率の高い高齢者向けの政治になっていく現状を感じている。若者の投票率を上げることがこの方向を変えていきたい。高校生には政治に参加しないことがいかに自分たちに不利なことかを知ってもらいたいという思いがあるから」と話した。

欠選挙の投票率は44%という半分にも満たない数字となった。現代の社会では高齢者が有権者の多数派となり政治への影響力が増す

参院長野補選は羽田氏が当選

1、2年生の投票結果もほぼ同様の結果に

実際に投票した1・2年生に取材を行った。参議院議員選挙で当選した羽田次郎さんに投票したという1年生は「新型コロナウイルスによって亡くなられた羽田雄一郎さんの弟で意思を継ぐ羽田次郎さんなら、きっといい政策を行ってくれると思った」と話した。同じく羽田さんに投票したという2年生は、羽田さんが選挙に当選した事を受け、「自分が投票した人が議員になってすごく嬉しい。期待しています」と笑顔で答えてくれた。

事にある政治注力分野を見て決めた。自分が今の長野県に必要なと思った項目を重視してくれていた。政策も説得力があり、この人ならと思った」と話した。

羽田次郎さんに投票した1・2年生は他の立候補者に比べ少なかったが、3割の受信料を支払わない方法を教える党という党名に惹かれて興味を持つ生徒も



模擬投票の事前学習を行う生徒の様子



多く見られた。模擬投票後に2年生が書いた感想には、「実際の選挙と同じような

緊張感をもって投票することができた。実際の選挙と模擬投票を比べて各立候補者にほぼ同じ率の票が入っていることから有権者と同じ感覚で投票に臨めたと思う」という内容の感想が多く見られた。「これから自分達が投票に行く世代になるため、シルバー民主主義にならないように関心を持っていきたい」と言う感想もあった。私たちが有権者になった際、政治に関心をもち候補者と自分の意見を照らし合わせて、自分の

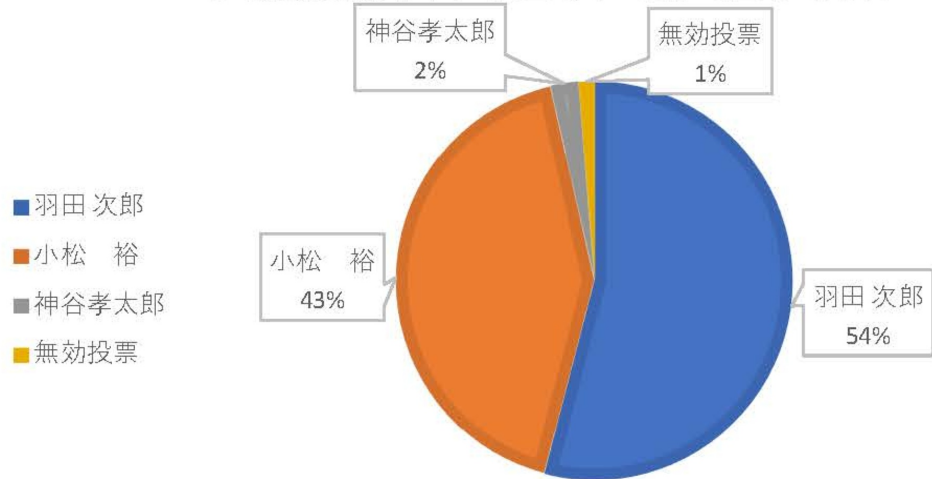
実際の投票結果と上田西高校での模擬投票の結果のグラフ。1、2学年ともに実際に行われた参議院選挙の結果と同じような結果となった。選挙の結果が出た後の振り返り学習では「実際の選挙では無効票が多いと感じた」と振り返る生徒も多くおり、模擬投票の取り組みが若者の投票率向上に繋がる事が期待される

声である一票を入れてほしいと思う。
(藤田 珠寿)

実際の選挙

羽田 次郎	小松 裕	神谷孝太郎	無効投票
415781	325826	17559	9910

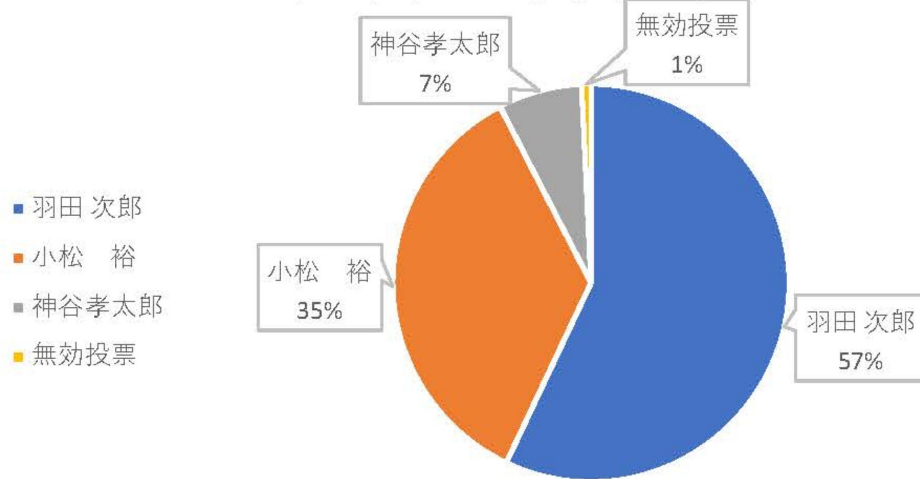
2021 参議院議員 長野選挙区補欠選挙結果



2年生 結果

羽田 次郎	小松 裕	神谷孝太郎	無効投票
150	93	18	2

2学年現代社会受講者投票結果



1年生 結果

羽田 次郎	小松 裕	神谷孝太郎	無効投票
82	39	8	1

1学年社会科学受講者投票結果

